

エリアマネジメント協議会

第5回 「地域活性化交流・観光」及び「まちづくりハウジング」専門部会

日時：令和元年9月2日（月）16：00～

場所：西成区安心安全活動拠点「あいステーション」

出席者：

<有識者> 水内教授（大阪市立大学）、松村教授（阪南大学）、寺川准教授（近畿大学）

<オブザーバー> ありむら事務局長（釜ヶ崎のまち再生フォーラム）

白波瀬准教授（桃山学院大学）

<地域> 村井委員（区商連会長）、山田委員（簡宿組合事務局長）

上田委員（ココルーム代表）

<大阪市> 西成区：三代総合企画担当課長、川上地域支援担当課長

都市計画局：樽野地域開発担当課長

議事要旨

「提案型地域ストック再生モデル補助事業」について

・古い木造建築物を対象にするのではなく、しっかりした建物で、建築確認がなくても申請ができる事業とした方が良いのではないか。

あいりん総合センター跡地の活用について

・跡地の北側に建物を建てたとしても、新今宮駅との連結は難しいのではないか。また、視界が遮られて南側が何をしているかわからなくなるのではないか。

・労働施設の傍に市民館的機能、居場所機能を持った建物を建ててはどうか。

・駅前に若い人や女性の働けるものを作り、近隣に住んでもらえるようになれば良いと思うが、不特定多数の人が行き来する場所に、子どもの居場所を作ることは違和感がある。

・労働センターの駐車場について、時間帯で使い分けをするなどし、労働者や地域住民のために使えるものにして欲しい。

・センター跡地の北側をオープンスペースとし、例えば定期借地権によって民間に土地を貸し出して、公共スペース等の維持費や事業運営費を捻出できるようにしてはどうか。